

第一奉仕出版に關し

先輩各位の甚大なる指導後援により、我が工事畫報は、愈明春を以て第100號に達する事となりました。爰に記念と謝恩の爲に、低廉無比な、而して實用價值の充滿した、通俗簡易な英語土木雜誌 PRACTICAL CIVIL ENGINEERING を發行し、我國數萬の土木技術者多年の渴望に酬ひ度ひと思ひます。

吾等技術雜誌社が報國の微衷を諒とせられ、倍舊の御後援を賜はらん事を。

謹言

昭和七年六月一日

工事畫報社

廢炭礦再生のセメンテーション

地下に於ける坑道掘鑿に於て、不良地質に當り之に對して施工せらるゝセメンテーションの效果に就ては、從來満足すべき報道を聞かなかつたのであるが、今回磐城炭礦會社が福島縣緩坑に於て施工したるセメンテーションに於て初めて、セメンテーション本來の特色を發揮し、效果百パーセントの結果を示すに至つた。

本號に報道せられたるものは、一炭坑が湧水のため多年廢坑状態となり居たるものを、何とかして再生せしむるの途なきに關し、鶴田勝三氏の案を求められ、鶴田氏は實地調査の結果セメンテーションの強力施工に一縷の光明を認め、完全なる準備に着手し、主としてドリフターの利用と高壓ポンプの設備と、急硬セメントの利用とにより、遂に其目的を達するに至つたものである。

勿論以上の施工を完成するには、精密なる設備を整へる事と、材料を充分に準備する事と、従業人員を整頓する事等相當の苦心の存する處であるが、要するに此の思切つた施工の計劃を會社側が認容した點も注意すべきである。

斯くして土木的の施工が礦山の廢坑を再生せしめた事は、セメンテーションの世界的新記録と言ふべきである。

京濱電鐵黃濱乘入線

短區間の連絡工事として、地形の變化に適應する特種の設計は、最近竣工したる京濱電鐵會社の横濱乘入線の工事である。

神奈川臺の狹地を出で、直に深さの大なる埋立地

を過ぎ、次に御所山及び野毛山の臺地を貫いて日出町に入り、此所に湘南電鐵の高架線と連絡するまで鐵筋コンクリート高架橋あり、同じく函道あり隧道あり、橋梁あり、而して何れも獨創的の設計と施工に成つたものである。

都市内の短區間に於ては、從來斯の如き變化に當みたる工事の例を見ざる處で、施工の難も想像するに餘あると思はれる。東京より半日の行程にて此の工事を視察し得るは、最上の見學である。本號には地方讀者の爲に其概要を傳へるにすぎない。

ドイツの混凝土ポンプ

現在混凝土の施工に於ては、長大なる鋼製樋管を用ひて流し込みの方法を行ひつゝあるが、流し込方法は軟練とする結果、強度に於て面白くない。土木用に於ては稀にコンクリートプレーサー（東京地下鐵工事に於て清水組施工）を使用された事があるが未だ一般的のものではない。

爰にドイツのコンクリートポンプは特種の性能を有する様である。即ちネバリのあるコンクリートなれば能く150尺の直上にさへ送り出されるのである此のネバリのあるコンクリートに就て注意と研究を怠らぬならば、コンクリートポンプは大に實用とせらるゝものと思はれる。

而して高層建築や高堰堤のコンクリート施工に、あの邪魔物の如く聳えてあるエレベーターや、タワーやシュートを廢して、簡便なる此のポンプを使用する事が出来たならばコンクリート施工上の一大進歩であると思はれる。

我々は本邦に於ける使用の實例を一日も早く知り度いと思ふ。